

① ふくしま生活・就職応援センターのご案内

ふくしま生活・就職応援センターは、東日本大震災等により離職された方などで、福島県内に就職を希望する方の生活再建や就職に関する相談窓口です。仮設住宅や借上住宅を巡回しての個別相談のほか、県外へ避難している方に対しては、宮城県・山形県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・首都圏等で相談会等も実施しています。巡回相談や相談会等のスケジュールはFターンサイト(県が運営する就職情報サイト)内で確認いただけます。

事務所	住 所	電話番号	利用時間・休館日
郡 山	郡山市駅前1-14-21 郡山花椿ビル8階	024-925-0811	月～土曜日 午前10時～午後7時 (祝日・年末年始を除く)
白 河	白河市郭内1 NTT白河ビル1階	0248-27-0041	
会津若松	会津若松市南千石町6-5 会津若松商工会議所会館2階	0242-27-8258	
いわき	いわき市平字梅本15 県いわき合同庁舎西分庁舎1階	0246-25-7131	月～土曜日 午前9時～午後6時 (祝日・年末年始を除く)
南 相 馬	南相馬市原町区南町1-1 松本ビル2階	0244-23-1239	
広 野	双葉郡広野町大字下浅見川字広長44-3 広野みらいオフィス2階 ハローワーク富岡・広野サテライト内	0240-28-0636	月～金曜日 午前9時～午後5時 (祝日・年末年始を除く)

② ふるさと福島就職情報センターのご案内

東京都内と福島市内に設置している「ふるさと福島就職情報センター」において、専門の相談員による、きめ細かい就職相談や職業紹介、首都圏等に避難されている方への巡回就職相談などを実施します。

	住 所	電話番号	利用時間
東京窓口	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階 (福が満開、福しま暮らし情報センター)	03-3214-9009	火～日曜日 午前10時～午後6時 (祝日・年末年始・お盆を除く)
福島窓口	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま2階	024-525-0047	月～土曜日 午前10時～午後7時 (祝日・年末年始を除く)

問 ①・②ともに 福島県庁 雇用労政課 ☎024-521-7290 Fターン 検索

お知らせ アクアマリンのひなまつり

パッチワークちりめん細工教室「ままや」協力のもと、様々な海の生き物をかたどった「つるし雛」を展示します。

期 間 2月10日～3月4日

入館料 大人1,800円、小～高校生900円、未就学児無料

問 環境水族館アクアマリンふくしま ☎0246-73-2525

アクアマリンふくしま

お知らせ 「日本橋ふくしま館MIDETTE」でいわきの魅力を発信!

福島県の首都圏向け情報発信拠点「日本橋ふくしま館MIDETTE」にて、いわきの魅力を発信するイベントを開催します。当日は、ご当地キャラによる観光PR、旬の製品の販売のほか、特別企画として、旬の食のふるまい(数量限定)、有名シェフや生産者と語り合う交流会、スイーツ作り体験などを予定しております。

日 時 3月 9日(金) 午前11時～午後7時45分
10日(土)・11日(日) 午前11時～午後5時45分

問 いわき地方振興局 ☎0246-24-6007

キビタンと行く - vol.12 -

ほっとふくしま

このコーナーでは、キビタンが見つけた魅力的で新しい「ふくしまの今」をご紹介します。

南相馬市のシンボルへ。ヨッシーランド再建

東日本大震災で甚大な被害を受けた介護老人保健施設「ヨッシーランド」が再建され、平成29年12月1日から利用者の入所が始まりました。ヨッシーランドは笑顔あふれる明るい施設でしたが、津波で利用者や職員を含む37人が犠牲に。大きな爪跡が残されました。再建を決めたのは、施設を運営する医療法人「慈誠会」理事長の強い思いがあったからと、職員の池田さん

は語ります。「理事長には『なんとしても再建するんだ』という思いがありました。高齢化が進む南相馬市には介護施設が必要だったんです。以前の職員はほとんど残っていませんが、1日でも早く震災前の姿に戻りたいですね」

そんな思いに共感した職員は58人(12月1日現在)。なかには、会津地域や関東圏から駆けつけた職員も。南相馬市のシンボルとして、地域医療へのさらなる貢献が期待されます。

問 介護老人保健施設 ヨッシーランド ☎0244-24-0000

編集後記 本情報紙をお手にとっていただきありがとうございます。旧年中は、読者アンケートなどを通じ、さらなる期待など様々な声をお寄せいただきました。引き続きより良い情報紙となるよう努めてまいりますので、本年もよろしくお願ひします。本年が皆さまにとりましてより良い一年になること、本県が復興再生に向けてさらに力強さを増すことを願っております。【ひよ】

ふくしまの今 **が分かる**

新聞

発行：福島県庁 避難者支援課 ☎024-523-4250

平成30年1月19日(金) vol.63

「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや被災者・避難者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取組や福島の復興に向けた動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。



1 只見雪まつり(只見町) 2 ふるさとの祭り2017(浪江町) 3 鯖湖湯(福島市)
4 大内宿(下郷町) 5 提灯祭り(二本松市) 6 あぶくま洞(田村市)

特集

① 避難指示区域の復興
② チャレンジふくしま 復興と飛躍に向けた取組

ふくしま復興ステーション

除染の状況、食の安全・安心に向けた取組、ふくしまを応援する方々の活動など、復興の姿を分かりやすくお届けします。

ふくしま復興ステーション

CHECK!

「ふくしまの今が分かる新聞」の最新号及びバックナンバーは、県のホームページからご覧いただけます。ダウンロードしてご利用ください。

[PC] 福島 今が分かる新聞

避難指示区域の復興



ふくしまからはじめよう。

知事からのメッセージ ～避難されている皆さまへ～

県内外に避難されている皆さまに心から御見舞いを申し上げます。
震災から7度目の新たな年を迎えました。この間、県民の皆さまの懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、昨年は、避難指示が解除された区域が拡大し、古里への帰還が進むとともに、震災以降途絶えていた伝統行事や祭りが復活するなど、避難地域の復興再生に向けて大きく動き出した1年となりました。

また、県内を見渡しますと、福島を拓く新たな交通ネットワークや拠点施設の整備進展を始め、スポーツ・文化の両面における若者や子どもたちのめざましい活躍、観光地におけるにぎわいの回復や県産品の国内外での高い評価など、明るい話題も着実に増えてまいりました。

一方で、今もなお、5万人を超える方々が避難を続けておられるほか、廃炉・汚染水対策、古里への帰還に向けた生活環境の整備、風評・風化の問題など、福島県はいまだ、厳しい状況にあります。

県では、今後とも、直面する課題に一つ一つ挑戦を続け、避難地域の復興再生や被災された皆さまの生活再建にしっかりと取り組み、福島の復興が更に前進するよう、引き続き、全力を尽くしてまいります。



内堀 雅雄 福島県知事



平成29年7月19日 地元で再開した小中学校を訪問

広野小学校・広野中学校(広野町)

東日本大震災後、一時、いわき市に移転し、平成24年8月に広野町で再開した広野小学校・広野中学校を訪問しました。中学3年生と一緒に給食をいただき、小学生による環境美化活動等を見学しました。

知事のコメント

首都圏の大学生による学習支援など特色のある教育づくりが行われています。一緒に給食を食べた中学生が、部活や勉強、進路のことを堂々と話してくれたのがとても印象的でした。



榎南小学校・榎北小学校・榎中学校(榎町)

東日本大震災後、一時、いわき市に移転し、昨年4月に榎町で再開した榎南小学校・榎北小学校・榎中学校を訪問しました。小学1、2年生の体育の授業でボールを使った運動に参加し、中学3年生の数学の授業を見学しました。

知事のコメント

故郷に戻った小学生、中学生が元気に、健やかに育っているのを見て、うれしく思いました。小学生と一緒にスポーツをしました。相手のことを考えながら取り組んでいる姿を見て、思いやりをもった優しい子が育っていると感じました。



平成29年11月9日 昨春、避難指示が一部解除された浪江町と富岡町を訪問

浪江にじいろこども園(浪江町)

この春、町内幾世橋に開所する認定こども園「浪江にじいろこども園」を訪問しました。同園では本格開業を前に、11月から一時預かり保育が開始されており、利用している子どもたちとふれあいました。



曲田第二団地災害公営住宅、JR富岡駅(富岡町)

宮本皓一富岡町長の案内で、昨夏完成した帰還者向けの集合住宅型の災害公営住宅を視察しました。更に、昨年10月に再開したJR富岡駅を訪れ、利用状況などの説明を受けました。

知事のコメント

避難指示が解除された後、それぞれの町で復興へ向かう動きという明るい光を感じることができました。一人でも多くの住民の皆さまが安心して古里に戻ることができるように頑張っていきたいと思っております。



避難指示区域のさらなる解除に向けて

大熊町の「特定復興再生拠点区域復興再生計画」が国の認定を受けました

昨年5月に改正された福島復興再生特別措置法により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とすることを旨とする「特定復興再生拠点区域」を定めることができました。

県内では、昨年9月15日に双葉町、11月10日に大熊町、12月22日に浪江町の「特定復興再生拠点区域復興再生計画」が国の認定を受けました。この認定により、特定復興再生拠点区域内のインフラ復旧・整備や除染等が一体的に進められ、避難指示解除を目指すこととなります。

今号では大熊町の計画を紹介し、今後浪江町の計画を紹介いたします(双葉町の計画は本紙第60号で紹介しています)。

計画の概要

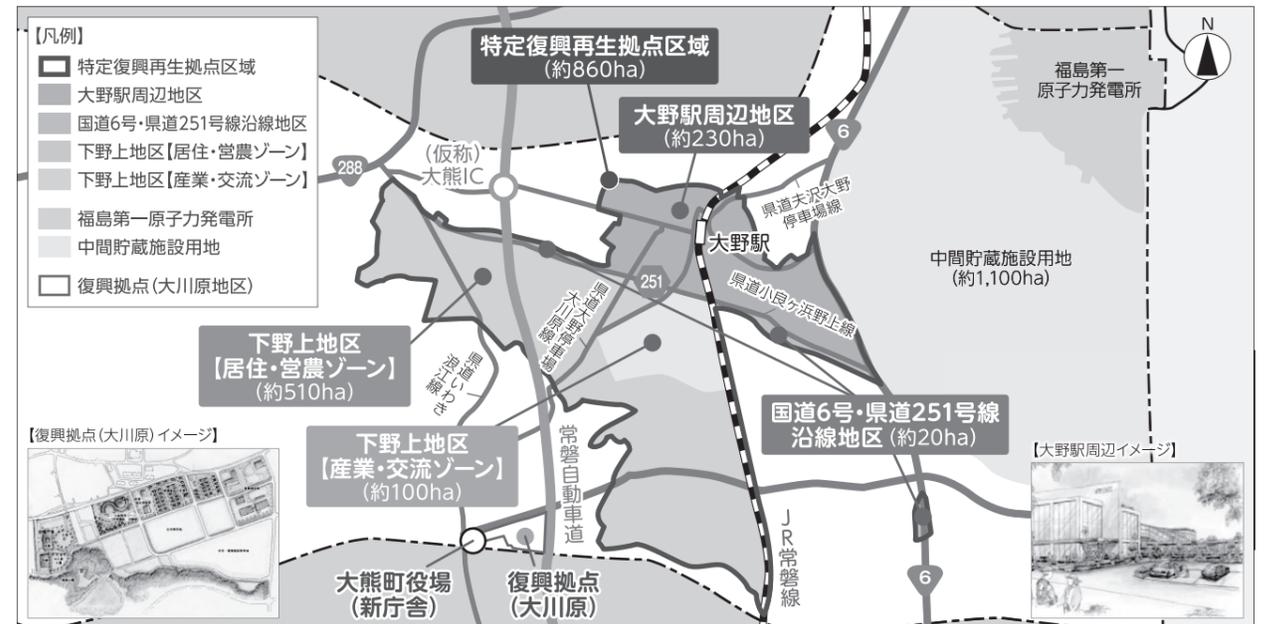
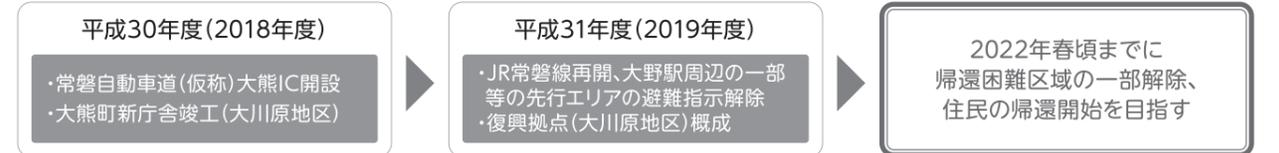
計画の期間	2022年9月まで
避難指示解除による住民の帰還及び居住開始時期の目標	2022年春頃まで ただし、JR常磐線、JR大野駅周辺の一部と居住制限区域の大川原にアクセスする区間等については2019年度末頃まで
居住人口等の目標 (避難指示解除から5年後の目標：2027年)	約2,600人

計画の目標

大熊町土の復興・再生を実現するため、以下の目標のもと、概ね5年程度での避難指示の解除による住民の帰還・住居の開始を目指すとともに、町外からの住民(廃炉事業者等)を受け入れる環境を整備する。

- 生活・社会インフラの復旧・復興及び住環境の整備
- 企業・研究機関等の誘致及び地元企業の再開
- 町民のコミュニティ創生及び町外流入者との交流促進
- 水稲・花卉等の実証栽培及び営農再開に向けた取組

主な事業の整備目標



ふくしまの今を動画でも知ることができます

福島の今を知る動画スペシャルサイト「FUKUSHIMA NOW」では、「復興のあゆみ」や県政広報テレビ番組、ニュースなどの動画を見ることができます。下記WEBサイトよりご覧ください。

FUKUSHIMA NOW

福島の今を知る動画

知事定例記者会見をインターネットでご覧いただけます

毎週月曜日午前10時から知事定例記者会見をインターネットで生中継していますので、ぜひご覧ください(会見の日程は変更になる場合があります)。これまでの会見録も県のWEBサイトでご覧いただけます。

ふくしまから チャレンジはじめよう。～福島県知事 内堀雅雄のページ～

福島県知事 会見

避難指示が解除された地域での最近の動き

昨年3月から4月にかけて、川俣町・浪江町・飯館村・富岡町の4町村の「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」が解除され、避難地域の復興再生の動きが大きく進展しました。

解除日	市町村	解除の状況	解除日	市町村	解除の状況
平成26年 4月 1日	田村市都路地区	避難指示解除準備区域解除	平成28年 6月14日	川内村	避難指示解除準備区域解除
平成26年10月 1日	川内村	避難指示解除準備区域解除 居住制限区域を避難指示解除準備区域に再編	平成28年 7月12日	南相馬市	
平成27年 9月 5日	檜葉町	避難指示解除準備区域解除	平成29年 3月31日	川俣町・浪江町・飯館村	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
平成28年 6月12日	葛尾村	居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除	平成29年 4月 1日	富岡町	

① いたて村の道の駅 まいでい館 飯館村

昨年8月にオープンしました。「まいでい」とは、「大切に」「丁寧に」「じっくりと」「心をこめて」「手間暇惜みず」という意味。施設全体には杉材がふんだんに使われ、また、天井にはたくさんの花が飾られており、ほっとくつろげる雰囲気が広がっています。飯館村流のスローライフ“まいでいライフ”を感じてください。



問 まいでい館 ☎0244-42-1080

② とんやの郷 川俣町

山木屋地区に、昨年7月、商業施設「とんやの郷」がオープンしました。施設には食料品を扱う小売店、町特産品を活かした食堂があり、復興の足がかりとなる復興拠点として期待されています。福島市から浪江町に向かう国道114号線沿いにありますので、通行の際に、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



問 とんやの郷 ☎024-563-2021

③ 葛尾村中心地3商店 事業再開セレモニー 葛尾村

昨年4月にマルイチ商店、7月に石井食堂、ヤマザキYショップヤマサが村内で営業を再開。周辺地域からも人が集まり、村に活気が出てきています。



村では、昨年7月28日に「葛尾村中心地3商店事業再開セレモニー」を実施しました。篠木村長からは「多くの村民が帰還されることを期待され、企業立地にも弾みがつく」との祝辞がありました。

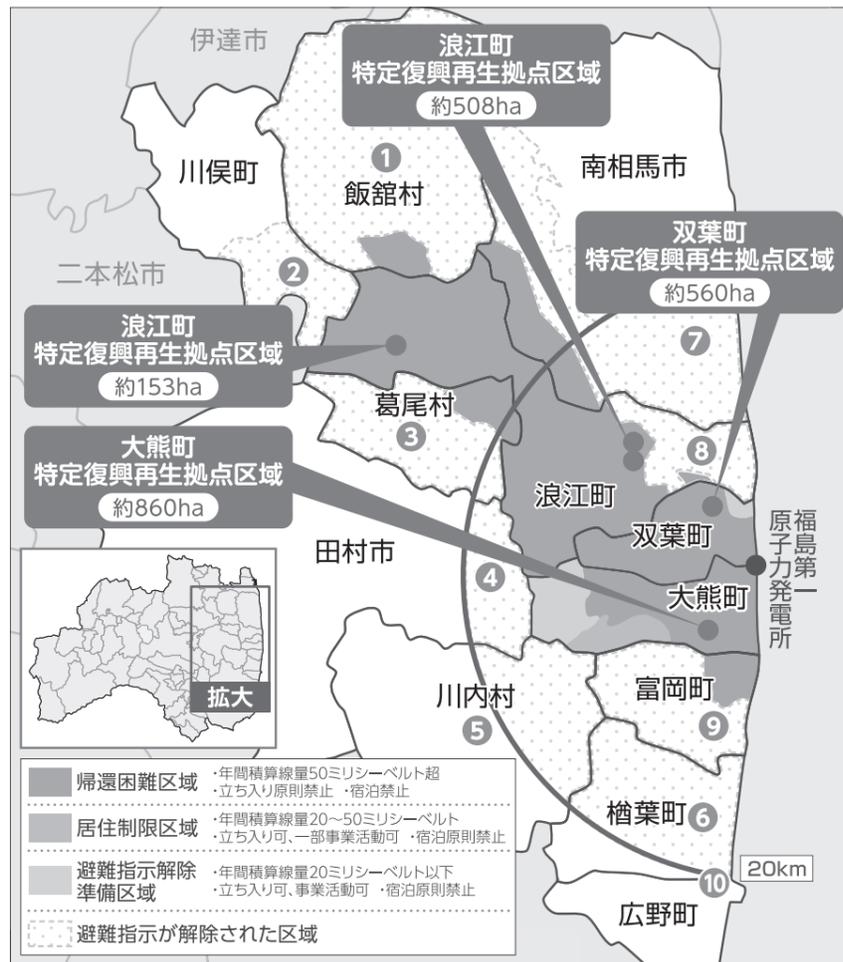
問 葛尾村地域振興課 ☎0240-29-2113

④ 岩井沢の三匹獅子舞 田村市

市の無形民俗文化財に指定されている都路町岩井沢の三匹獅子舞は、短くとも250年以上の歴史を誇る伝統文化です。毎年秋、天日鷲神社秋季例大祭に奉納されており、近年では岩井沢全域の4年生の長男に受け継がれ、6年生までの3年間舞うことになっていました。

昨年10月29日は7年ぶりに子どもたちが三匹獅子舞を奉納しました。獅子役を引き受けたのは、都路小学校6年の佐藤智也くん、吉田優成くん、石井翔くん。舞の奉納を終え、来場者から温かい拍手が送られた子どもたちは、獅子頭を脱ぐと、息を整えながら安堵の表情を浮かべていました。

問 田村市教育委員会生涯学習課 ☎0247-81-1215



⑤ 第3回川内の郷かえるマラソン 川内村

小学6年生の発案で始まったマラソンの3回目が4月28日(土)に開催されます。今回のテーマは「心伝える つながる 今走り出す」。今回も川内優輝さん、吉田香織さんにゲストランナーとしてご参加いただきます。自然いっぱいの川内村をみんなで一緒に走りましょう。

応募締切
2月9日

問 川内の郷かえるマラソン大会実行委員会事務局 ☎0240-38-3838

⑥ 笑(えみ)ふるタウンならば 商業施設・交流施設 檜葉町

檜葉町が復興拠点として北田中満地区で整備を進めている「笑ふるタウン」内では、今年春の開業を目指し、商業施設と交流施設の工事が進められています。商業施設には、スーパー、ホームセンター、ベーカリー、理容店、飲食店、クリーニング、カフェが出店を予定しています。また、交流館には、会議、コワーキングスペース、展示等に対応可能な、みんなのリビング、多目的室、和室、サウンドルームなどが完備されます。

問 檜葉町新産業創造室 ☎0240-23-6105

⑦ 小高産業技術高校 煌桜(こうおう)祭 南相馬市

平成28年7月に大部分で避難指示が解除された南相馬市小高区では、昨年4月から多くの学校が再開、開校しました。小高商業高校と小高工業高校を統合して開校した小高産業技術高校では、昨年10月21日・22日の両日、開校後初の文化祭となる「煌桜祭」が催されました。『つなぐ～小高で築く伝統を未来へ～』をスローガンに掲げて開催したところ、大雨にもかかわらず、約1,000人を超える来場者にお越しいただき大いに盛り上がりしました。

問 小高産業技術高等学校 ☎0244-44-3141



⑧ 復興なみえ町十日市祭 浪江町

浪江町の十日市は、明治6年に浪江神社の祭日として「市」を立てたことに始まる歴史の長い伝統的なお祭り。震災後の平成23年度からは二本松市内で「復興なみえ町十日市祭」として開催されていましたが、昨年11月、7年ぶりに地元で開催されました。同時開催の民俗芸能の祭典「ふるさとの祭り」と、福島ロボットテストフィールドのプレオープン祭「ドローンフェスタ2017」と合わせ、大いに盛り上がりを見せました。

復興なみえ町十日市祭運営委員会の原田会長によると、「皆さまのご協力があったからこそ開催できた十日市祭でした。天候にも恵まれ、多くの方がお越しくださいました。この祭りが懐かしい出会いと町民の新たな絆につながり、さらに町がにぎわっていくことを願っております」とのことです。

問 浪江町商工会 ☎0243-22-9100



⑨ 第89回富岡えびす講市 富岡町

大正12年から続く伝統的な秋市「えびす講市」が、昨年11月、7年ぶりに地元で開催されました。ふたば未来学園高校の生徒たちが作った紅白餅を使用した恒例の餅投げなど、大勢の町民たちでにぎわいました。

えびす講市運営委員会の菊地委員長によると、「えびす講市の復活により、今も避難している町民、帰還した町民、そして新しい町民が、これからの富岡町を紡ぐきっかけになれば嬉しい」とのことです。

問 富岡町商工会 ☎0246-35-0331



⑩ Jヴィレッジ、2018年夏一部再開に向けて 檜葉町・広野町

檜葉町・広野町にあるスポーツ施設「Jヴィレッジ」は、平成9年の誕生以来、東日本大震災発生までの間、年間50万人、累計およそ680万人が来場するサッカーの聖地として親しまれてきましたが、東日本大震災とそれに伴う福島第一原子力発電所の事故収束の対応拠点として平成28年度末まで使用され、現在も営業を休止しています。

同施設は、東京オリンピックにおけるサッカー男女日本代表の合宿地に決定しており、今夏の一部再開、平成31年4月の全面再開を目指して準備が進められています。

あなたも、「Jヴィレッジサポーター」に

福島県では、「Jヴィレッジ」の再開に向けて全国の個人・企業・団体の皆さまから寄附金を募集しています。「Jヴィレッジ」復興のため、ご支援をお願いします。

※この寄附金は、ふるさと納税と同様に寄附控除の対象となります。



寄附金に関するお問い合わせ先

Jヴィレッジサポーター事務局 ☎0240-23-7321

一般的なお問い合わせ先

福島県庁 エネルギー課 ☎024-521-7116

Jヴィレッジ 復興

検索

① 福島国際医療科学センター



平成28年12月 (全面供用開始) 福島市

② 福島再生可能エネルギー研究所



平成26年4月 (供用開始) 郡山市

③ 会津大学復興支援センター (先端ICTラボ)



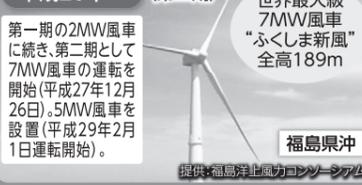
平成27年10月 (供用開始) 会津若松市

④ 福島医療機器開発支援センター



平成28年11月 (供用開始) 郡山市

⑤ 浮体式洋上風力発電実証研究



平成26年~ (第二期) 福島県沖

避難地域・再生可能エネルギー復興支援プロジェクト



平成28年度 (順次、発電開始) 避難解除区域等

チャレンジふくしま 復興と飛躍に向けた取組

誰もが安心して住み、訪れる “ふくしま”

世界モデルの技術と産業構造を持つ “ふくしま”

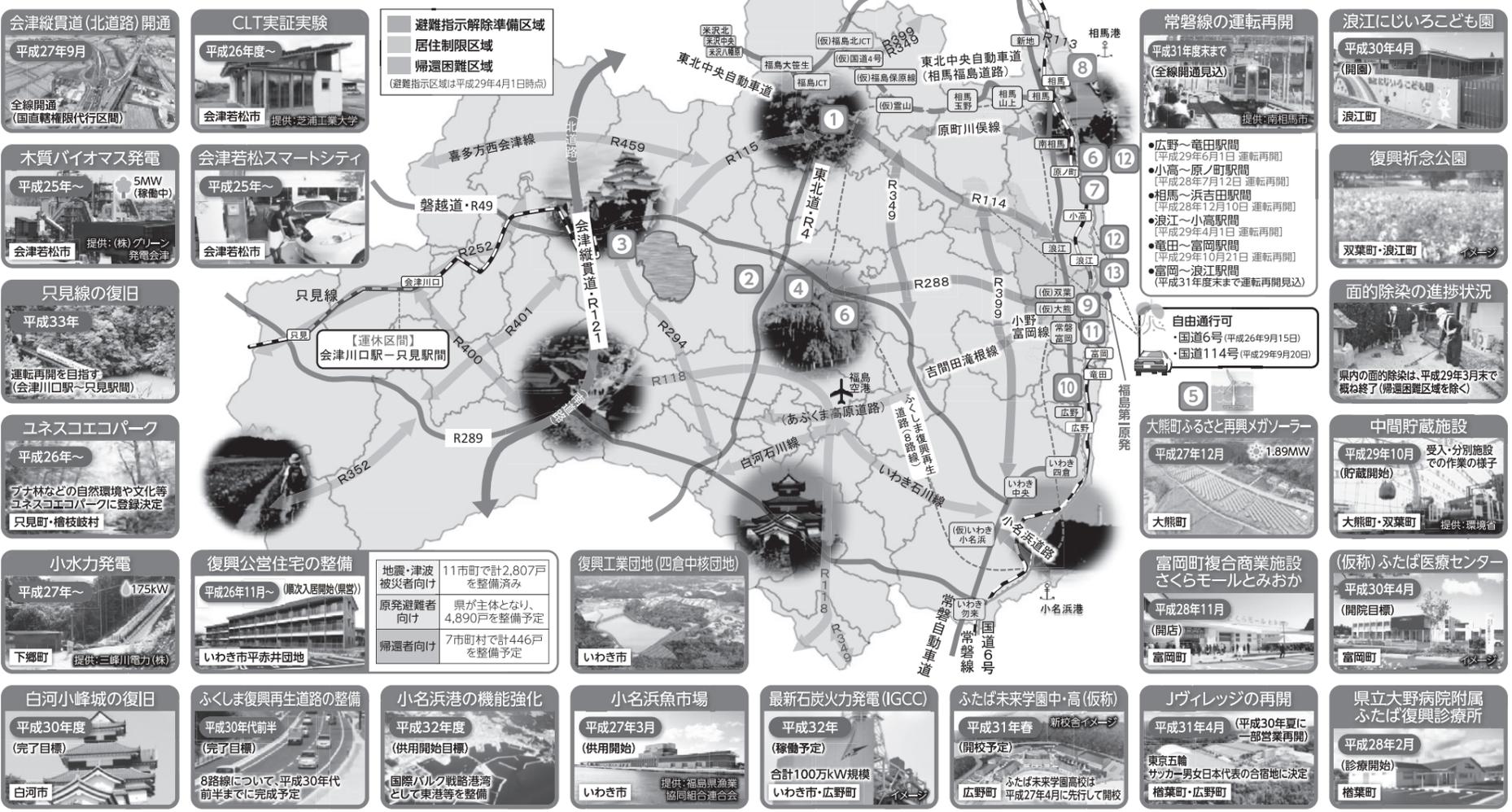
みんなが誇りに思う、ふるさと “ふくしま”



特集 ②

復興に向けたこれまでの取組、現在進めている取組が、震災から10年を経たときに、どのように形づくられていくかを絵姿としてまとめました。また、総合計画・復興計画の目標年度である平成32年(2020年)は、東京オリンピック・パラリンピックの開催年であり、復興を遂げた“新生ふくしま”の姿、これまでの支援に対する感謝の思いを国内外に発信するべく、「オールふくしま」で挑戦します。

<p>地域密着型プロスポーツ</p> <p>平成26年~</p> <p>福島ユナイテッドFC 福島ファイヤーボンズ 福島カープス</p>	<p>2020東京オリンピック・パラリンピックホストタウン</p> <p>平成28年~</p> <p>事前合宿、交流などを通じてスポーツ復興、地域の活性化などに取り組む</p>	<p>2020東京オリンピック野球・ソフトボール開催</p> <p>平成32年度</p> <p>福島の復興に向かう姿と魅力を世界に力強く発信!!</p>	<p>東北中央自動車道の整備</p> <p>各区分の完成予定時期</p> <p>平成29年3月 相馬山~相馬玉野 平成29年11月 福島大笹生~米沢北 平成29年度 相馬玉野~(仮)相馬山 平成31年度 相馬山~(仮)相馬山 平成32年度 (仮)相馬山~(仮)福島保護線 (仮)飯沼4号~(仮)福島北IC</p>	<p>常磐自動車道の新全線開通</p> <p>平成27年3月</p> <p>いわき中央IC~広野IC 平成32年度までに4車線化を目指す</p>	<p>相馬港のLNG基地等整備</p> <p>平成30年 (操業開始予定)</p> <p>LNG基地とパイプライン(40km)</p>	<p>海岸堤防等の復旧</p> <p>平成31年度 (完了目標)</p> <p>浪江町 浪江地区海岸</p>	<p>全国植樹祭の開催</p> <p>平成30年6月</p> <p>浪江町 全国植樹祭</p>
<p>磐梯山ジオパーク</p> <p>平成27年12月 日本ジオパークに再認定</p> <p>平成25年~ 総合の磐梯山ジオパーク</p>	<p>福島県立医科大学保健科学部(仮称)</p> <p>平成33年 福島市</p> <p>理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、臨床検査技師を養成</p>	<p>福島大学「食農学類(仮称)」</p> <p>平成31年4月 (開設目標)</p> <p>福島市 福島大学</p>	<p>復興牧場「フェリスラテ」</p> <p>平成27年9月</p> <p>施設全景</p>	<p>山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」</p> <p>平成29年7月 (開店)</p> <p>川俣町</p>	<p>いたて村の道の駅までい館</p> <p>平成29年8月 (開業)</p> <p>飯館村</p>	<p>小高産業技術高等学校</p> <p>平成29年4月 (開校)</p> <p>南相馬市</p>	<p>浪江町仮設商業施設 まち・なみ・まるしえ</p> <p>平成28年10月 (開店)</p> <p>浪江町</p>



⑦ 浜地域農業再生研究センター



平成28年3月 (開所) 南相馬市

⑧ 水産種苗研究・生産施設



平成30年度 (供用開始目標) 相馬市

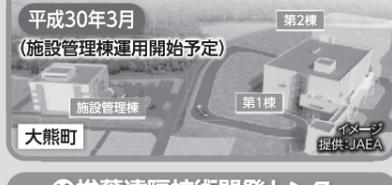
目指す姿

- 安全・安心を提供する取組
- 農林水産業の再生
- ふくしまブランドの確立

イノベーション・コースト構想

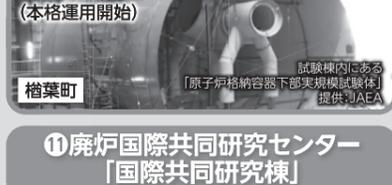
ロボット研究・実証拠点	国際産学連携拠点	スマート・エコパーク
エネルギー関連産業プロジェクト	農林水産プロジェクト	アーカイブ拠点施設

⑨ 大熊分析・研究センター (放射性物質分析・研究施設)



平成30年3月 (施設管理棟運用開始予定) 大熊町

⑩ 櫛葉遠隔技術開発センター (モックアップセンター)



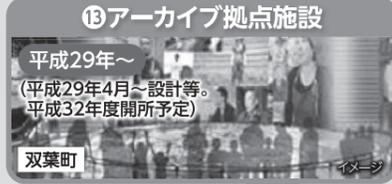
平成28年4月 (本格運用開始) 櫛葉町

⑪ 廃炉国際共同研究センター 「国際共同研究棟」



平成29年4月 (運用開始) 富岡町

⑫ 福島ロボットテストフィールド



平成28年~ (平成28年9月~設計等。平成30年度以降、順次開所予定) 南相馬市・浪江町

福島新エネ社会構想

平成28年度~

再生可能エネルギー由来水素プロジェクト

平成32年 (運用開始予定) 浪江町

再生可能エネルギーを用いた大規模水素製造、次世代の水素輸送・貯蔵技術の実証に取り組む。福島県産水素を東京五輪期間中に活用予定。

再エネ導入推進

最先端医療 県民の健康増進

関連産業の集積

雇用の創出

目指す姿

国際的先進地との連携

平成29年1月16日 トイツNRW州との覚書更新

ドイツNRW州やデンマーク等との連携

⑬ 環境創造センター(三春・南相馬)

平成28年7月 (全面供用開始)

研究棟 本館

平成27年11月 (供用開始) 南相馬市

展示室全体俯瞰イメージ

環境放射線センター

交流棟「コミュニティ福島」

三春町

目指す姿

環境回復・創造

調査・研究 情報発信

環境教育・交流

IAEAとの連携

目指す姿

廃炉の加速化

関連産業の集積

雇用の創出

⑭ アーカイブ拠点施設

平成29年~ (平成29年4月~設計等。平成32年度開所予定)

双葉町

1 被災者のくらし再建相談ダイヤル

住まい、健康、子育て、就労、就学、環境など、帰還や生活再建に関するご相談をお受けいたします。
ご相談に応じて、県で実施している各種支援策や関係機関の取組、担当窓口の連絡先などをご案内いたします。

☎0120-303-059 (平日：午前9時～午後5時(祝日・年末年始を除く))

2 「ふくしまの今とつながる相談室toiro」(一般社団法人ふくしま連携復興センター)

「ふくしまの今とつながる相談室toiro」では、主に県外に避難されている方を対象に、電話や対面での相談、相談窓口の紹介や、ふくしまの今を伝える人材の派遣などを行っています。

☎024-573-2731 (月・水・金：午前10時～午後5時(祝日・年末年始を除く))

3 「生活再建支援拠点」(全国26カ所)

福島県では、避難先での生活再建や帰還に向けた相談・情報収集ができるよう、全国26カ所に「生活再建支援拠点」を設置しています。

対面や電話による相談対応のほか、交流会を開催していますので、お困りごとなどがあれば、お気軽にご相談ください。



エリア	団体名・住所	相談日時	電話番号・メールアドレス
北海道	北海道NPOサポートセンター 札幌市中央区南8条西2-5-74 市民活動プラザ星園 201号	来所：月・水・金／電話：月～金 午前10時～午後6時	☎011-200-0973 ✉soudanf@npo-hokkaido.org
青森・岩手・秋田	あきたパートナーシップ 秋田市上北手荒巻字堺切24-2	月～金 午前10時～午後9時	☎018-829-2140 ✉info2340@akita-partnership.jp
宮城	みやぎ連携復興センター 仙台市青葉区本町3-1-17 やまふくビル 3階	火・水・金 午前11時～午後6時	☎080-9259-7049 ✉f-soudan@renpuku.org
山形	山形の公益活動を応援する会・アミル 山形市双葉町2-4-38 双葉中央ビル 3階	来所：月・火・木／電話：月～金 午前9時～午後5時	☎023-674-0606 ✉soudan@amil.org
茨城	茨城県内への避難者・支援者ネットワーク ふうあいねっと 水戸市文京2-1-1 茨城大学教育学部 A棟413	火・水・木 午前9時30分～午後4時30分	☎070-3182-4044 ✉fuai.soudan@gmail.com
栃木	とちぎボランティアネットワーク 宇都宮市埴田2-5-1 共生ビル 3階	火・水・金 午前10時～午後5時	☎028-622-0021 ✉tvnet1995@ybb.ne.jp
群馬	ぐんま暮らし応援会 高崎市棟高町519	月～金(祝日除く) 午前9時～午後5時	☎027-386-6560 ✉kurashi-ouenkai@bb.wakwak.com
埼玉	福島県外避難者相談センター(埼玉広域避難者支援センター) さいたま市浦和区常盤6-4-21 埼玉県勤労者福祉センター(ときわ会館) 1階	月～金 午前9時～午後5時	☎0120-60-7722 ✉fukushima_soudan@yahoo.co.jp
千葉	福島県外避難者相談センター(ちば市民活動・市民事業サポートクラブ) 千葉市花見川区検見川町3-159-2	来所：月・火・水／電話：月～金 午前10時～午後5時	☎080-5418-7286 ✉ftsoudan@npoclub.com
東京	①東京都社会福祉協議会 ②医療ネットワーク支援センター ※面談での相談をご希望される方は、事前にご連絡ください。	月～金 ①午前9時30分～午後5時 ②午後5時～8時30分	☎①0120-978-885 ②03-6911-0584 ✉soudan@medical-bank.org
神奈川	かながわ避難者と共にあゆむ会 横浜市中区太田町4-47 コーワ太田ビル 7階 ※来所される際は、事前にご連絡ください。	来所：月～金(祝日除く)／電話：月～土 来所：午後1時～午後5時 電話：正午～午後7時	☎0120-122-884 ✉ayumu.tomoni@gmail.com
新潟	新潟県精神保健福祉協会 新潟市中央区上所2-2-3 新潟ユニゾンプラザ ハート館 2階	来所：月・火・木／電話：水・金 来所：午前9時30分～午後4時30分 電話：午後6時～9時	☎0120-783-217 ✉fukushima-niigata@bz04.plala.or.jp
山梨・長野	東日本大震災・山梨県内避難者と支援者を結ぶ会 中央市若宮49-7	月～金(祝日除く) 午前9時～午後5時	☎055-274-7722 ✉musubukai@ycca.jp
富山・石川・福井	石川県災害ボランティア協会 金沢市荒屋町イ7-5	日・火・木・金・土 午前10時～正午／午後3時～7時	☎0800-123-1446 ✉fuku-shien@spacelan.ne.jp
静岡	福島県外避難者相談センター「ここさこ」(静岡県臨床心理士会) 静岡市葵区田町1-70-1 静岡県青少年会館内	火・水・金 午前9時～午後4時30分	☎0120-42-2828/054-275-2828 ✉fukushima.katei@gmail.com
愛知	愛知県被災者支援センター 名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎 1階	月～金(祝日除く) 午前10時～午後5時	☎052-954-6722 ✉center@aichi-shien.net
岐阜・三重	レスキューストックヤード(ふくしま支援室) 名古屋市中区泉1-13-34 名建協 2階	来所：月・水・木 電話：月～金(祝日除く) 午前10時～午後6時	☎052-212-8155 ✉fksm@rsy-nagoya.com
滋賀・京都	和(なごみ) 京都市下京区七条大宮西入西酢屋町10	月～土 午前10時～午後5時 (ご都合に合わせて面会可能)	☎075-353-5181 ✉info@fucco-nagomi.com
大阪・兵庫・奈良・和歌山	関西広域避難者支援センター 大阪市中央区谷町2-2-20 2階 市民活動スクエア「CANVAS谷町」	月・火・金 午前10時～午後4時	☎070-5346-9311/070-5269-9311 ✉kansaihinan@gmail.com

エリア	団体名・住所	相談日時	電話番号・メールアドレス
岡山	ほっと岡山 岡山市北区東古松1-14-24 コーポ錦 1階	火・木・金 午前10時～午後4時	☎0120-566-311 ✉hotokayama@gmail.com
鳥取	とっとり震災支援連絡協議会 鳥取市若桜町31 カナイビル 1階	月～金(祝日除く) 午前9時～午後6時	☎0857-22-7877 ✉support@tottori-shien.org
島根・広島・山口	ひろしま避難者の会「アスチカ」 広島市西区三篠町2-15-5	火・水・金 午前10時～午後4時	☎0120-24-2940 ✉fukushima.seikatsu.hir@gmail.com
徳島・香川・愛媛・高知	えひめ311 松山市東一万町2 第3森ビル 1階 協働オフィス内	月～金 午前10時～午後3時	☎089-993-8329/070-5515-2217 ✉ehime311@yahoo.co.jp
福岡・佐賀・長崎・熊本	被災者支援ふくおか市民ネットワーク 福岡市博多区博多駅前3-27-24 博多タナカビル 8階	月・水・金 午前10時～午後6時	☎092-409-3891 ✉info@snet-fukuoka.org
大分・宮崎・鹿児島	「うみがめのたまご」～3.11ネットワーク～ 宮崎市柳丸町121-3 パストラル柳丸 I-101	火・木・土・第1日 午前10時～午後4時	☎0985-25-2810 ✉askme@umitama.info
沖縄	福島避難者のつどい沖縄じゃんがら会(まちなか研究所わくわく) 浦添市内間2-10-8	月～土(祝日除く) 午前10時～午後4時	☎080-6498-6720 ✉soudanoki@gmail.com

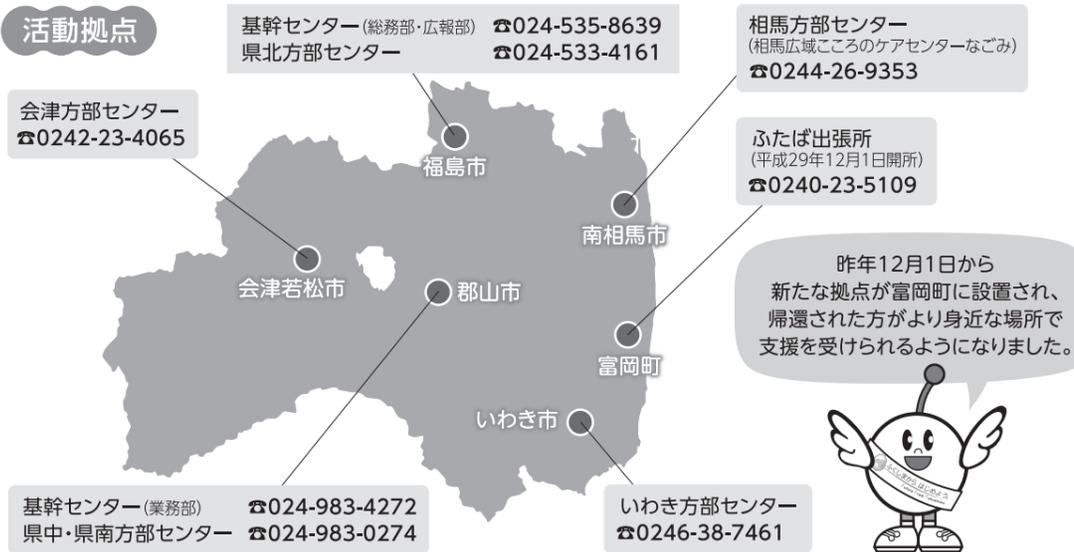
4 心のケアに関する相談窓口

疲れが抜けない、だるい、寝つきが悪い、イライラするなど、何となく不調が続くことはありませんか。福島県では被災された皆さまにご相談いただける窓口を開設しています。専門の相談員が対応しますので、ひとりで抱えこまず、お気軽にご相談ください。

ふくしま心のケアセンター(一般社団法人福島県精神保健福祉協会)

被災者相談ダイヤル「ふくここライン」 ☎024-925-8322 (平日：午前9時～正午、午後1時～午後5時)

○悩みを抱えている方や、その支援をされている方からのご相談を県内・県外を問わずお受けしております。



県外における心のケア拠点

都道府県	対応内容	相談日時(祝日・年末年始を除く)	お問い合わせ先
北海道	電話相談「福島こころのホットライン北海道」	日曜日：午後1時～午後5時	(一社)北海道精神保健福祉士協会 ☎011-211-0308 相
山形県	健康チェック 相談会「まちの保健室」	山形市、米沢市にて月1回開催 鶴岡市にて不定期開催 (詳細はお問い合わせください)	(公社)山形県看護協会 ☎023-685-8033
茨城県	電話相談「ほっとライン・しゃくなげ」	第2・4土曜日：午後1時～午後5時	茨城県精神保健協会 ☎0296-78-3332 相
埼玉県	戸別訪問への同行等 (福島県復興支援員と連携対応)		埼玉県臨床心理士会 (相談については、福島県復興支援員埼玉事務所 ☎048-814-1111 にお問い合わせください(火・水・木))
千葉県	電話相談「ほっとラインしゃくなげ・ちば」	第1日曜日：午後1時～午後5時	(一社)千葉県臨床心理士会 ☎043-376-3638 相
東京都	電話相談「ほっとラインしゃくなげ・東京」	木曜日：午前10時～午後3時	(一社)東京臨床心理士会 ☎03-3813-9017 相
神奈川県	電話相談「こころのホットライン」 メール相談	日曜日： 午前10時30分～午後4時30分	(一社)神奈川県臨床心理士会 ☎045-716-6463 ✉mail@2940.org
新潟県	支援者支援「ふくしま支援者サポート事業」 相談対応	平日：午前8時～午後5時	新潟県精神保健福祉協会 ☎025-285-5533
静岡県	戸別訪問「ふくしま家庭のサポート」		静岡県臨床心理士会 ☎054-221-7115
京都府	電話相談「こころ・ほっこりライン」	第1・3金曜日：午前9時～午後1時 第2・4土曜日：正午～午後4時	(一社)京都精神保健福祉協会 ☎0120-670-350

問 福島県庁 障がい福祉課 ☎024-521-8204

① 復興公営住宅の入居者募集

原子力災害により現在も避難指示を受けている方や避難指示が解除された区域の方に対し、復興公営住宅の募集を行います。

募集期間 1月29日(月) から 2月16日(金)まで

なお、対象団地、入居要件等については、下記にお問い合わせください。

問 福島県復興公営住宅入居者支援センター ☎024-522-3320

復興公営住宅の
整備状況に関する
情報はこちらから

復興公営住宅 入居

検索

復興公営住宅 進捗

検索

② 仮設住宅等入居者向け県営住宅の入居者募集

応急仮設住宅等に入居している世帯のうち、平成23年3月11日時点で福島県中通り及び浜通り(避難指示区域は除く)に居住していた方に対し、県営住宅を優先的に提供いたします。

※募集期間等の詳細は、希望する地区の県営住宅管理室にお問い合わせください。

問 ●**県北地区県営住宅管理室** ☎024-521-7991 ●**県中地区県営住宅管理室** ☎024-935-1518
●**県南地区県営住宅管理室** ☎0248-23-1623 ●**会津地区県営住宅管理室** ☎0242-29-5526
●**相双地区県営住宅管理室** ☎0244-26-5114 ●**いわき地区県営住宅管理室** ☎0246-35-1733

③ 不動産取得税の軽減措置(被災代替不動産、三世同居・近居住宅)

東日本大震災及び原子力災害により被災した家屋とその敷地、農地の所有者が、それらに代わるものを取得した場合、取得した家屋とその敷地、農地に係る不動産取得税が軽減されます。

また、子育て支援策の一環として、18歳未満の方を含む三世以上の方が同居または近居する住宅を平成29年4月1日から平成32年(2020年)3月31日までに取得した場合、取得した住宅に係る不動産取得税が2分の1に軽減されます(福島県内の住宅に限ります)。詳しくは下記までお問い合わせください。



問 ●**県北地方振興局** ☎024-521-2694 ●**県中地方振興局** ☎024-935-1254
●**県南地方振興局** ☎0248-23-1517 ●**会津地方振興局** ☎0242-29-5254
●**南会津地方振興局** ☎0241-62-5214 ●**相双地方振興局** ☎0244-26-1126
●**いわき地方振興局** ☎0246-24-6033 ●**福島県庁税務課** ☎024-521-7068

④ 避難指示が解除された区域への帰還者に対するテレビ受信相談

避難指示が解除された区域に帰還される皆さまは、無償でテレビ受信に関する支援を受けることができます。お気軽にご相談ください。

支援内容	<ul style="list-style-type: none"> テレビの映りが悪い場合(または映らない場合)の相談 難視聴地域の個別アンテナ工事 難視聴地域の共同アンテナ工事 	
支援条件	<ul style="list-style-type: none"> 公的機関の証明書(被災・罹災証明等) NHKの受信契約 	

※地上デジタル放送が対象です。※既存の共同アンテナをご利用されている方は対象外となります。

問 **デジサポ福島** ☎(ナビダイヤル)0570-007-401 午前9時～午後6時(土日祝日・年末年始を除く)
ナビダイヤルがつかない場合またはPHS・IP電話等をご利用の方は ☎024-525-8220

デジサポ福島

検索

① 東京電力への問い合わせ先

東京電力は、原子力損害賠償の請求手続きについて、相談窓口やコールセンターを開設しております。お問い合わせや請求書類のご請求については、下記連絡先までご連絡ください。

◆原子力損害賠償全般に関する問い合わせ(平日:午前9時～午後7時 土日祝日:午前9時～午後5時)

福島原子力補償相談室(コールセンター) ☎0120-926-404

◆土地・建物・家財の賠償に関する問い合わせ(「住居確保に係る費用の賠償」に関する問い合わせ)
(平日:午前9時～午後7時 土日祝日:午前9時～午後5時)

福島原子力補償相談室(土地・建物・家財専用ダイヤル) ☎0120-926-596

◆耳の不自由な方からのFAXによる問い合わせ

福島原子力補償相談室(専用FAX受付番号) ☎0120-722-251

② 各種相談窓口

円滑な原子力損害賠償の請求手続きを支援するため、県、国等の機関がそれぞれ相談窓口等を開設しています。

① 県

◆原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口

☎024-521-8216(平日:午前8時30分～午後5時15分)

県の職員が対応します。なお、弁護士による電話での法律相談を毎週水曜日の午後1時～午後5時に同じ電話番号で実施しています。

◆原子力損害賠償に関する個別相談

弁護士や不動産鑑定士による対面の相談を実施しています。事前予約制となりますので、ご利用を希望される方は、上記の問い合わせ窓口までご連絡ください。



② 国

◆文部科学省(原子力損害賠償対策室(原子力損害賠償制度や原子力損害賠償紛争審査会に関すること))

☎03-6631-9993(平日:午前9時30分～午後6時15分)

◆経済産業省資源エネルギー庁(原子力損害対応室)

☎03-3501-1511(代表)(平日:午前9時30分～午後6時15分)

③ 原子力損害賠償紛争解決センター

原子力事業者に対する損害賠償請求について、和解の仲介により円滑、迅速かつ公正に紛争を解決することを目的として設置された公的な紛争解決機関です。

☎0120-377-155(平日:午前10時～午後5時)

【第一東京事務所】東京都港区西新橋1-5-13(第8東洋海事ビル 9階)

【第二東京事務所】東京都港区西新橋1-5-11(11東洋海事ビル 5階)

【福島事務所】福島県郡山市方八町1-2-10(郡中東口ビル 2階)

●**県北支所** 福島市霞町1-52(福島市市民会館 503号室) ●**いわき支所** いわき市平字小太郎町1-6(いわきセンタービル 4階)

●**会津支所** 会津若松市一箕町松長1-17-62 ●**相双支所** 南相馬市原町区本町2-1(南相馬市役所北庁舎 2階)

④ 原子力損害賠償・廃炉等支援機構

◆電話による無料の情報提供・個別相談

行政書士が賠償請求に関する情報提供を行います。また、弁護士による個別相談を事前予約制で行います。

○実施日 火曜日・木曜日:午前10時～正午

☎0120-013-814(月曜日～土曜日・祝日:午前10時～午後5時(年末年始を除く)) ※情報提供・個別相談予約とも同じ

◆福島県内外における無料個別相談会

○相談時間 1回につき1時間

○実施日・会場等 詳しくは、下記問い合わせ先に連絡いただくか、WEBサイトをご覧ください。

☎0120-330-540(毎日:午前9時30分～午後5時(年末年始を除く))

原子力損害 支援機構 相談会

検索